

5	平城京西市跡	平城京には二つの官営市場があった。右京八条二坊の西市と左京八条三坊(奈良市東九条町・杏町付近)の東市で、奈良時代の流通の中心となっていた。西市は近鉄九条駅の東側一帯にあったと推定されている。その広さは五、六、十一、十二坪の四坪(約70,000m ²)を占めていたと考えられている。
6	がらしょうじ 願正寺	真宗大谷派。開基は永正8年(1511)といわれているが明らかでない。寺伝によると、聖徳太子がこの地に観音堂一字を建立したという。
7	道標	すく(直ぐ)高野山 大峰山 左京 奈良、万延二辛酉年三月吉日建 などの文字が見える。
8	平城京 羅城門跡	平城京の中央を南北に通る朱雀大路(道幅約70m)の南端にあり、都の玄関口となる重要な門である。昭和10年に佐保川の底に羅城門の礎石(柱の下に置く石)らしいものが発見され、また、昭和47年には発掘調査によって基壇(建物の下の土の壇)の西端が確認された。
9	せんだんの 大木と 歌碑・祠	『佐保川の清き河原に鳴く千鳥 河鹿とこつ忘れかねつも』 よみ人 不詳(万葉集巻7 1123)
10	きこく地蔵尊	外部からの災いを防ぐために、積穀の木が植えられたことから積穀地蔵と呼ばれるお地蔵様があった。平成16年に佐保川改修に伴う郡界橋の架け替え工事が施行され、旧地蔵堂と同じ構造の新地蔵堂が平成18年7月に完成し、現在に至る。
11	常楽寺	融通念仏宗。本尊は阿彌陀如来像。永和2年(1376)に建立された。



19	伊豆七条環濠	環濠集落。
20	八条北遺跡	平成15年度調査では、弥生時代のお墓である方形周溝墓が多く検出された。
21	嫁取橋	茶屋の娘コマノが悲恋の末に大蛇になって、花嫁を池の中にさらったという「大蛇の恋」の言い伝えに出てくる橋。
22	コマノ墓	「大蛇の恋」の大蛇が退治され、村人がそのしっぽを埋めたと伝えられる。
23	けそうじ 華蔵寺	浄土宗。本尊は地蔵菩薩像。万治年間(1658~61)有盛英法印の建立で、天保年間(1830~44)大文字屋庄五郎によって大修復されている。
24	子守神社	祭神 蛭子命(恵比須) 天水分命、天国水分命。
25	菅原神社	醍醐天皇の延喜5年(905)に編纂を開始した延喜式の第九巻=神祇九の大和國添下郡の欄に、菅田神社と記載されている。木造透垣で囲まれた朱塗の春日造の本殿に祀られている御祭神名は、昭和26年の宗教法人法制定時に登記された「菅田比古命」となっているが、弘仁6年(815)の新撰姓氏録に菅田首人とあり、菅田姓を持つ一族は、大麻比止津乃命の末裔であると記されている。天津麻浦神という日本書紀記載の別名もあり、古事記には鍛冶天津麻浦神と記され、鍛冶(かぬち=今で言う金属工業)の祖神であることがうかがえる。風土記では「天目一命」、古語拾遺には「天目一箇命」と記載されているが、いずれも同一の神である。
26	八条環濠	室町時代の16世紀前半ごろの史料に八条という地名があらわれ、庄屋の存在が知られる。この頃に掘り囲まれた庄屋敷を中心に村が形成されたとみられる。

天理市

1	釈迦如来坐像 杵築神社 (市指定文化財)	杵築神社境内の釈迦堂に本尊として安置されている。檜材の寄木造りの像で、天文13年(1544)の宿院仏師源次の制作。室町時代彫刻の基準作例として見逃すことができない作品。
2	森嶋家住宅 (県指定文化財)	18世紀後半の住居として表門、主屋、内蔵、別荘などを備えている。また大和棟の瓦葺きと茅葺き屋根のコントラストが美しい。
3	三十八神社	祭神:御年神。例祭は10月17日。境内社に八坂神社・巖島神社がある。
4	牛塚	仲のよいひとつがいの牛の墓で、村人が供養のために、一本の棕の木を植えたといわれる。この牛塚を農業の神とあがめ、農作物の豊作を祈るようになった。
5	杵築神社 (南六条)	祭神:素戔嗚命。10月17日例祭。本殿の東の釈迦堂に釈迦如来坐像(1参照)。境内社に葛神社・市杵島神社がある。
6	光明寺	浄土真宗。本尊:阿彌陀如来立像。宝永元年(1704)12月に内山から移り、天保3年(1832)10月23日に本堂を再建。
7	西福寺	融通念仏宗。本尊:阿彌陀如来坐像(藤原時代の作)。
8	法輪寺	融通念仏宗。本尊:地蔵菩薩立像(鎌倉時代の作)。
9	杵築神社(中)	祭神:大國主命。勸請年代不詳。もと村社。3月8日御田祭、10月8日渡御祭、10月15日氏神祭。境内に春日神社・大神神社・太田神社・八社神社がある。
10	菅原神社鳥居および参道	国道24号バイパスの北側左手(大和郡山市側)に菅原神社の鳥居が立ち、左に参道が分岐する。
11	駐蹕地之碑	昭和7年秋の陸軍特別大演習に昭和天皇がここからお召し列車に乘られたことを記念。
12	星塚古墳跡	星塚1号墳が37m、2号墳が41mの前方後円墳。1号墳からは笛型木製品が出土しているが、全国でも例がないものという。名前の由来は不明。
13	道標	「大峯山上七十五度供養」と記される。紀年銘には明治二十六年とあるが、近年に作り直しされたもの。
14	地藏堂 (南菅田)	もと粟田青蓮院の末寺であったが、維新の際に廃寺となった。堂内の地藏立像は高さ二尺八寸、室町時代中期の作風が見られる。
15	普賢寺	融通念仏宗。開基創業年代は不詳。本尊:阿彌陀如来坐像。(室町時代中期の作風がうかがわれ、もと内山永久寺の仏像といわれている。)
16	春日神社 (北菅田)	祭神:天津児屋根命。由緒不詳。境内に巖島神社があって市杵島姫命を祭り、例祭は10月8日。
17	二階堂地藏堂	この付近に膳夫寺があった。この寺の堂が二階造りに似ているところから二階堂と名づけられたと伝わる。今も二階堂、二階堂下、二階堂筋の小字名を留めている。

18	片岡家	明治10年に明治天皇が、大行列を従えてこの道を通り、橿原の畝御御陵に参拝した際、途中、この片岡家の書院で休憩している(書院は現存せず)。
19	杵築神社 (上ノ庄)	祭神:大國主命。勸請年代は不詳。もと村社。例祭は10月15日。
20	善照寺	融通念仏宗。本尊:阿彌陀如来坐像(藤原時代末期の作)。創立開基年代は不詳。
21	常夜灯	孤池西岸には常夜燈が2基置かれ、うち1基に「大神宮」、もう1基に「金比羅」の文字がある。
22	孤池	『御祭神が高天原から大和国の孤池の畔に天降られ、金の大幣を持って北へ進まれ、(菅原神社の)大鳥居の地点で西に向かわれ、後の神楽殿の辺りでひと休みされた後、現在の鎮座地に行まれると社が一夜にして出現し、後に一夜松山と呼ばれるこの地に鎮座された』という伝説が今も語り継がれている。
23	菅原神社 (嘉幡)	祭神:菅原道真。もと村社。境内社に七社神社・春日神社・八幡神社があり例祭は10月17日。元布留神社の神宮寺があった。境内の仏堂に藤原時代~室町中期の作の諸像がある。
24	念仏寺	融通念仏宗。本尊:地蔵菩薩坐像(藤原中期の作)。境内に永禄2年(1559)の名号碑が残る。
25	地藏堂(嘉幡)	地藏石像を安置してある。
26	一石一字塔	道標を兼ねる。一石一字塔とは法華經の字句を一つの石に一字ずつ書いたものを埋納した上に建てる塔であり、日蓮宗に関連する施設。
27	菅原神社 (庵治)	祭神:菅原道真。勸請年代は不詳。例祭は10月20日。もと村社。境内に七社神社がある。
28	称念寺	本尊:阿彌陀如来坐像。信楽山至心院と号し、延宝4年(1665)4月25日信蓮社単尊上人が建立、元文4年(1739)深養上人が再興。
29	養安寺	融通念仏宗。本尊:阿彌陀如来坐像(藤原時代末の作)。本寺の由緒は報国山養安寺記録にあり、保元年中(1156~58)の建立。
30	常夜灯	「大神宮」と記された常夜燈1基が残る。ここには「神」と彫られた石柱や八王子子の石像などがある。
31	伊勢降神社	祭神:豊日姫命。由緒不詳。もと無格社。例祭は10月20日。境内に道祖神社・住吉神社・春日神社・多賀神社・八幡神社がある。
32	常夜灯・地藏堂(庵治)	「行者講」と記された常夜燈1基と地藏堂、日露戦争の記念碑や忠魂碑がある。地藏堂には、天文2年(1533)在銘の石仏が安置されている。
33	春日神社 (庵治)	祭神:武甕槌命、経津主命、天兒屋根命、姫大神。勸請年代・由緒などは不詳。もと無格社。

1	綿宗 (鰻専門店)	100年以上の歴史を持つ川魚料理の店。
2	コマヤ (提灯工房)	淡竹を割って、竹ひごを作るところから文字・絵付けまで、すべてを手がける。